

かがやく

ハーモニーひたちなか

第14号
2013.3発行
編集/発行
ハーモニーひたちなか
ひたちなか市女性生活課

男女共同参画強調月間事業

テーマ「認め合い 男女が作る いい社会」

市では、男女共同参画の実現に向けて、市民及び事業者の関心と理解を深め、その推進に関する活動が積極的に実施されるよう、毎年11月を「男女共同参画強調月間」と定め、啓発事業を実施しています。

平成24年度は月間テーマを「認め合い 男女が作る いい社会」とし、男女共同参画を推進する団体のネットワークである「ハーモニーひたちなか」と協働して啓発事業を行いました。



▲子守唄コンサート



▲産業交流フェアと同時開催したハーモニーフェスタ2012



▲いきいきヘルス体操指導



▲朗読劇「親の介護～夫婦(ふたり)なら頑張れる」

今年度のハーモニーフェスタは、たくさんの方の来場者で賑わう産業交流フェアと同じ会場で行われました。会場には、ハーモニーひたちなか所属団体の活動を紹介したパネル展示や、工作コーナーなどを設置しました。さらにステージを設け、子守唄コンサートや健康体操の指導、朗読劇が行われました。男女共同参画に関するアンケートにも多くの方が参加し、それぞれのコーナーで幅広い年齢層の方に楽しんでいただきました。

ハーモニーフェスタ2012
日にち 平成24年11月3日(土)
ところ 市総合体育館メインアリーナ

ハーモニーフェスタに参加して

今回は「紙工作」を企画し、主に子ども（小学生）を対象に実施しました。「爪楊枝入れ」「ブーメラン」「肩たたき」など、参加した親子は普段作ったことのない工作に悪戦苦闘しながら挑戦し、やっと出来た美しい作品に大満足していました。

ハーモニーひたちなか会員 小林義文(火曜会)



▲みんなで紙工作



▲ハーモニーひたちなか活動啓発パネル展示



▲フェルトで小物づくり



▲ガールスカウトと遊ぼう！

「男女共同参画意識調査」

来場者の大人と子ども（小・中・高校生）を対象に、男女共同参画の意識アンケートを実施し、大人296人、子ども89人から回答をいただきました。

パネルにシールを貼って答えるアンケートは結果が一目瞭然です。不思議そうに見ていた大人も子どもも男女共同参画について説明を加えることで面白がって参加してくれたようです。次回も別の項目で調査してみようと思います。

ハーモニーひたちなか会員 松本由美子(WING)



Q生まれ変わっても今の性別がいい？

「難しいな、考えたことない」
「今のままの性別がいい！」

この設問は「はい」が多く占めました。

Q旅行に行くとしたら配偶者と？

夫「もちろん妻と！」
男性は約8割が「はい」

妻「友人といきます・・・」
女性は約5割が「はい」と答え、
この設問では意識の違いがありました。

男女共同参画に関する啓発パネル展示

性別に関わらず、お互いに認め支え合う関係を築くために啓発パネル展示を実施しました。

男女共同参画啓発「自分らしく生きるために」

期間 11月7日(水)～9日(金)

場所 市民交流センターコミュニティギャラリー

DV(ドメスティック・バイオレンス)防止 「STOP! THE暴力」

期間 11月12日(月)～16日(金)

場所 市役所市民ホール



来場者の声

- ★男女共同参画は難しいと思っていましたが実は身近なことですね。
- ★男だから女だからと役割を決めつけるのではなく、お互いに認め合い支え合うことが大切ですね。
- ★どんな場合でも暴力で解決しようとするはいけないことですね、私もそう思っていました。



パープルリボン
※パープルリボン
は女性に対する
暴力根絶運動の
シンボルです

講演会「イキイキとした毎日を過ごすために」 ～子育て・介護・日常生活で活かす

笑顔と声のトレーニング～

講師 宮下敏子さん(フリーアナウンサー、歌手)



講師の宮下さんは、開口一番「こんにちは」と挨拶のあと「皆さん声が小さい、声が暗い」と指摘。もう一度全員が大きい声で「こんにちは」と挨拶すると宮下さんの顔がはじけるような笑顔になりました。

宮下さんは、アナウンサー、キャスター、歌手活動の外「言葉と笑顔が持つ力」を伝えるメッセンジャーとして忙しい日を送られています。そんな宮下さんは、「和顔施(わがんせ)」という言葉が大好きだといいます。

「和顔施」とは仏教用語で「笑顔を施す」との意味で、ひと様に微笑みかければ、自分にも微笑みが返されるということです。このことを宮下さんは、祖父の介護で実感したといいます。長い闘病生活で、言葉を失

宮下敏子さんプロフィール

NHKや民放でキャスターやディレクターとして活躍。FM局で番組を持つかわら、フリーアナウンサーとして講演や司会、ナレーションなど活動中。また、歌手として、いばらきさとやま生活応援ソング「ふるさと」などCDをリリース。月刊誌「すいぐん1000」にエッセイ「孫がみた老人介護」を掲載中。

い、天井を見ているだけの祖父が、彼女の精いっぱい笑顔での呼びかけに、穏やかな笑みを返してくれたその瞬間、「ああ、これが和顔施の実践だ」と感動したとのことでした。

宮下さんによると、コミュニケーションにおいて、人の第一印象の大部分は表情で決まり、次は言葉のトーンで決まるとのことです。現在、各地で「ひと声挨拶運動」が広がりを見せていますが、「おはようございます」「こんにちは」などの短い挨拶だけでも、地区の防犯効果が上がるとのデータもあり、言葉の持つ力は限りないとも話されました。

そして後半、会場は言葉の力をアップするためのトレーニング教室に変わり、全員で発声練習、声のトーン、ジェスチャーなどを学びました。会場は大盛り上がりで、一人ひとりが元気を貰っての解散となりました。

男女共同参画推進事業所表彰

男女が共に働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる次の2事業所が表彰されました。

<株式会社 あ印> (沢メキ)

女性社員が会議で活躍できる場を多く設けていることや仕事と育児・介護の両立が図れるような環境づくりに取り組んでいます。

<コロナ電気株式会社> (東石川)

育児休業を取得できる環境を整備し、多くの社員が取得していることとセクハラ相談窓口に女性を配置するなど社内での防止について積極的な啓発をしています。



男女共同参画に関する作品表彰

性別にとらわれず、仕事と家庭の両方を大切にすることの重要性、一人ひとりが個性や能力発揮できる社会をイメージした371作品の応募があり、男女共同参画審議会委員と市が選定した結果、次の6名が表彰されました。

最優秀作品は次年度の男女共同参画強調月間のテーマとして啓発に活用します。

<最優秀作>

「認め合う 最初の一步は 理解から」

清田 真稔さん

<優秀作>

「あなたと私 未来を作る パートナー」

鈴木 智也さん

「いたわりと努力で築く 男女の輪」

柴田 貞子さん

<佳作>

「共同参画 仕事も 家庭も いきいきと」

大内 美玖さん

「男女一緒に 肩並べ 同じ一步を 踏み出そう！」

軍司 圭太さん

「男女共同 いつでもどこでも 明るい笑顔」

薄井雄太郎さん



「これからの老後」第4回～シリーズ高齢期の過ごし方～

今回は、地域活動で生きがいを見つけ、元気で過ごすことの幸せについて、ハーモニー会員から寄稿をいただきました。

ハーモニーひたちなか会員 川又 三重子(青春会)

私は6年前に末期の乳ガンの手術をしました。幸い退院後は投薬の必要や後遺症もなく、現在は健康な方と全く同じ生活を送っています。老後や病気については誰もがいつかは向き合うことですが、自分自身の心がけ次第で前向きに捉えていくことができると思っています。

現在、私は地域のボランティア活動をしており、多くの人との縁ができました。その縁を忘れずに自

分の人生の糧とし、思い出作りをしています。また、その活動を通してお金では買えない喜びに出会ったりすることもあります。自分のちょっとした振る舞いで相手が笑顔になり「元気が出たわ」という言葉をもらった時、心より良かったと至福に包まれます。

今、元気で生活できることに日々感謝です。本当に一日一日の積み重ねが大事と感じる年齢になりました。



男女共同参画講座

「もうひとつのベトナムのお話」～フエ・子どもの家を訪ねて～

日にち 平成24年11月28日(水) ところ ワークプラザ勝田研修室1
講師 野上 明子さん

ベトナム・フエ市にある施設「子どもの家」への支援活動の報告と現地料理の体験講座が開催されました。

講師の野上さんは、アジアの南に位置するベトナムの歴史を話されたあと、交流を持った子ども達の笑顔や市場に並ぶ果実など生き生きとした町の様子を紹介されました。また、ストリート・チルドレンの子ども達を救うために日本人によって設立された「子どもの家」の話など、普段聞くことのできないベトナムについても話されました。

料理体験では生春巻きを上手に巻く裏技も学び、全員での試食となりました。参加者から「ベトナムの知識がちょっと入っただけで、その国の人々の顔

が見えてくるような気がします」という感想がありました。

世界で最も広い地域になるアジア。もっと色々な事を知りたくなる、好奇心の種を一人ひとりが持ち帰った講座となりました。



男女共同参画センターからのお知らせ



▲昨年のセンターの様子

昨年夏、ハーモニーひたちなか所属団体のパートナーシップイコール会の有志の皆さんが男女共同参画センターにひまわりやマリーゴールドなど、沢山の草花を植えていただきました。おかげで雰囲気が明るくなり元気をいっぱいいただきました。

お問合せは
男女共同参画センターまで
TEL&FAX : 029-354-0167
E-mail : danjo282@juno.ocn.ne.jp



先日スーパーで忘れ物をしました。買ったばかりのトイレットペーパーを置き忘れました。気づいてすぐお店に問い合わせましたが、正直見つかる望みは薄いなど意気消沈。ところがお店で預かっているとのこと。すごい！日本人エライ！震災時にも感じましたが、国際的にも稀有なこの日本人のモラルは、大切に守るべき誇りだと思っております。心も懐も二重にほこりと暖かい春の訪れです。

(M S)

編集後記